

人権・平和・環境

あしだかわ

発行

南部生涯学習センター
福山市沼隈町草深1889番地6
(沼隈支所3階)
TEL 980-7713
FAX 987-2382

【公民館】

泉 951-1557 熊野 959-0001 内浦 986-3535
山手 951-9381 水呑 956-3943 常石 987-3839
津之郷 951-1002 高島 956-0219 千年 987-3188
赤坂 951-1001 鞆 982-2664 山南 988-1981
瀬戸 951-1003 走島 984-2550 能登原 987-4460
明王台 952-3511 内海 986-3722

【コミュニティセンター・館】

山手 951-5679
瀬戸 951-1809
鞆 982-1882
熊野 959-0943
能登原 987-2559

E-mail:nanbu-syougai-gakushuu@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市ホームページ (URL:<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/>) からキーワード「あしだかわ」で検索

じょうさいこうくじんけんこうざほうこく

第28回 城西校区人権講座 報告

第28回城西校区人権学習講座(9月～11月, 3
回連続)が山手コミュニティセンターを主会場に開催
され、述べ500人の住民の方が受講されました。

第1講座 9月28日(金) 19:30～

講演会 「生活つづり方教育のめざすもの」

講師 坂田次男さん(「つづり方フォーラム21」主宰)

「一人ひとりの子どものちがいとよさを見つめ、ち
がいを超えてつながる」こと、それはまさに人権教育
の視点ですが、そのための重要な手法として「生活つ
づり方」は取り組まれてきました。

坂田さんは、「生活つづり方は、『生活者』を離れて
はあり得ない。くらしの中の苦しくしんどい事実に対
して、あきらめの感情や妥協をもたせない。その事実
に対する感情を感傷に終わらせない。本当の願い
を、生きてきた自分を、明日に生きる自分として確か
めるためにこそ綴る意味がある。だから生活つづり方
指導の意味は、表現することに意味があるのではな
く、その子のその後の人生の生き方にこそ意味がある

のです」と話されました。

参加者からは、「心が熱くなるお話
で、あっという間の90分間でした」
「私が励まされたようで、勇気が湧き
ました」などの声が寄せられました。



第2講座 10月16日(土) 13:30～

和太鼓コンサート

出演 「天手鼓舞」(広島市中途失聴・難聴者協会
和太鼓グループ)

天手鼓舞(11人)による和太鼓の演奏は、力強い
音が体育館に響きわたり、聴いている人たちにも身体
にその振動が伝わってきます。聴覚に障がいがある
にも拘らず、身体全体で楽しそうに表現するメンバ
ーの姿や一糸乱れぬリズム打ちに感動しました。

演奏の合間に、二人の方に体験談を発表していた
だきました。一人は自分自身の障がいをなかなか受
入れられなかったが、中学生の時、ありのままの自分
を認めてくれる人と出会い、何事にも挑戦できるよ

うになり、障がいを受入れられるようになった経験
を話されました。もう一人は、映画「泣きながら笑う
日」のモデルになった男性で、3歳の時に飲んだ抗生
物質で聴覚神経をおかされ、幼稚園から中学校まで
「難聴学級」に通われました。映画の中で、母親が
我が子を抱いて芦田川に身を投げようとするシーン
も実話であったこと、自分が生まれてこなければ…
と悩んだこと、そして両親の苦労を振り返って、今の
自分があるのは父母のおかげだと感謝していると話
されました。

最後は、担ぎ桶太鼓やチャッパ、宮太鼓、締め太鼓
による勇壮な四重奏が鳴り響き、参加者がともに感動
を分かち合えるコンサートになりました。



第3講座 11月6日(土) 18:30～

映画「RALLWAYS」～レイルウェイズ～の上映会を
行いました。